

永遠に輝き続ける魂のピアニスト

フジコ・ヘミング &

山形交響楽団

スペシャルコンサート



©Kazuhiko Suzuki



指揮 マリオ・コシック

2023
4/26(水) 19:00 開演 (18:00 開場)
やまぎん県民ホール

©2019AP Fuzjiko Hemming

■ ピアノ フジコ・ヘミング
■ 指揮 マリオ・コシック ■ 管弦楽 山形交響楽団

Program

メンデルスゾーン 交響曲第4番 イ長調「イタリア」作品90
リスト ラ・カンパネラ
ドビュッシー 月の光
ショパン ピアノ協奏曲第2番 ヘ短調 作品21より 第2楽章
モーツァルト ピアノ協奏曲第21番 ハ長調 K.467より 第2楽章 ほか

※やむを得ない事情により出演者・曲目等が変更になる場合がございますので予めご了承ください。

ご予約・お問合せ

山響チケットサービス (山響事務局内)

TEL 023-616-6607

(土・日・祝日を除く 10:00~17:00)

<https://p-ticket.jp/yamako>



やまぎん県民ホールチケットデスク

TEL 023-664-2204

(休館日を除く 10:00~19:00)

<https://yamagata-bunka.jp/ticket/>



チケット〈全席指定〉

S席 ¥9,800 / A席 ¥8,800 / B席 ¥6,800

学生S ¥3,800

※学生は24歳までの方(購入の際は学生証が必要)

※小学生以上の方がご入場いただけます。

一般発売日 / 2023年1月26日(木)10:00~

鑑賞会員先行発売 / 1月19日(木)

みんなのメンバーズ先行発売 / 1月21日(土)

チケット取り扱い

八文字屋 Pool、TENDO 八文字屋、辻楽器店、
富岡本店、やまぎん県民ホール、山響事務局

会館常設の託児室をご利用いただけます
料金 / 1時間 500円 ※チケットの半券提示で500円割引
対象年齢 / 生後6か月~就学前まで
やまぎん県民ホール (TEL.023-664-2220) にご予約
ください。〈2月1日(水)より先着順〉

主催：フジコ・ヘミング&山形交響楽団スペシャルコンサート実行委員会 / 山形新聞・山形放送

共催：山形県総合文化芸術館 指定管理者 みんなのやまがた 後援：公益社団法人山形交響楽協会

ゲオルギー・ヘミング・イングリット・フジコ

Georgii-Hemming Ingrid Fuzjko, Piano



日本人ピアニストの母とロシア系スウェーデン人画家／建築家ジョスタ・ゲオルギー・ヘミングを両親としてベルリンに生まれる。5歳の時、帰国。以来母の手ひとつで東京に育ち、5歳から母、投網子の手ほどきでピアノを始める。青山学院高等部在学中、17歳でデビュー・コンサートを果たす。東京藝術大在学中に、NHK 毎日コンクール入賞、文化放送音楽賞など多数受賞。28歳でドイツへ留学。ベルリン音楽学校を優秀な成績で卒業。その後長年にわたりヨーロッパに滞在し、演奏家としてのキャリアを積み、レナード・バーンスタインほか世界的音楽家からの支持を得た。しかし「一流の証」となるはずのリサイタル直前に風邪をこじらせ、聴力を失うというアクシデントに見舞われる。失意の中、ストックホルムに移住。耳の治療の傍ら、音楽学校の教師の資格を取得し、以後はピアノ教師をしながら、欧州各地でコンサート

活動を続ける。1999年2月11日には、フジコのピアニストとしての軌跡を描いたNHKのドキュメント番組、ETV 特集『フジコ～あるピアニストの軌跡～』が放映され大反響を巻き起こし、同年開催されたリサイタルと共に大反響を呼びおこし、デビューCD「奇蹟のカンパネラ」はクラシック界異例の大ヒットを記録した。これまで2枚のCDで日本ゴールドディスク大賞、4度にわたる各賞のクラシック・アルバム・オブ・ザ・イヤーを受賞。モスクワ・フィル、ロイヤル・フィルなど世界各地の著名オーケストラと共演。現在、ヨーロッパをはじめ、北米、南米、ロシアなど世界中からリサイタルのオファーが絶えない。2019年はサルガポーホール（パリ）、ウォルト・ディズニー・コンサートホール（ロサンゼルス）、カーネギーホール（ニューヨーク・1日あけ2回公演）、ウィーン楽友協会 ムジークフェライン（ウィーン）でいずれもSOLD OUTの大盛況を果たした。年間70本近くの公演活動で多忙を極める中、猫や犬をはじめ動物愛護への関心も深く、長年チャリティー活動も続けている。

マリオ・コシク

Mario Kosik, Conductor



スロヴァキア国立放送交響楽団の指揮者として、国内のみならず、海外でも高く評価されている。多数の応募者の中から選出され、2000年カルロヴィ・ヴァリ・シンフォニー・オーケストラの首席指揮者に任命。これを機に、ブラハ室内管弦楽団、ブラハ交響楽

団、ブルノ国立管弦楽団、ヤナーチェク・フィルハーモニー管弦楽団など、ヨーロッパでも有数のアンサンブル、管弦楽団や歌劇場に客演として招待される。モラヴィア・フィルハーモニー管弦楽団との共演で2006年に初来日して成功をおさめ、その後日本には何度も招聘されツアーを行っている。定期的にスロヴァキア国内の指揮台に立ち確固たる地位を確立するほか、ドイツ、オーストリア、イタリア、スペイン、ポーランド、ブルガリア、ロシア等の様々な国の異なるオーケストラやアーティストと数々のコンサートを行い、国際的にも名声の高い指揮者として活躍が続いている。スロヴァキア、チェコの音楽界において最も注目を集めている新鋭指揮者のひとりである。

山形交響楽団 Yamagata Symphony Orchestra

1972年、東北初のプロ・オーケストラとして誕生。山形テルサ・酒田・鶴岡での定期演奏会、東京・大阪での「さくらんぼコンサート」、山形県下で毎年3万人以上の青少年に「感動」を届けるスクールコンサートなど、年間150回に及ぶ多彩な演奏活動を展開。

2007年、飯森範親（2004年から常任指揮者・ミュージックアドバイザー）の音楽監督就任を機に、名実共に東北地方のみならず日本の音楽文化を代表するオーケストラとしての地位を確立している。2006年、オーケストラの自主レーベルとしては日本初となるCDレーベル『YSO live』を立ち上げ、2007年から2015年まで8年半にわたる壮大なプロジェクト、「アマデウスへの旅」（モーツァルト交響曲全曲演奏会）を開催。2008年には、アカデミー賞映画「おくりびと」に出演。2017年「モーツァルト交響曲全集」を発売、第55回レコード・アカデミー賞（特別部門企画・制作）を受賞し全国的な話題となる。2020年6月より、常任指揮者阪哲朗とともに「ベートーヴェン交響曲全曲演奏会」をスタート。全集DVD制作とインターネット配信を通じて、山響の新たな魅力を発信している。2022年、創立50周年を迎えた。

常任指揮者 阪哲朗、首席客演指揮者 鈴木秀美、創立名誉指揮者 村川千秋、桂冠指揮者 飯森範親。

オフィシャル・ウェブサイト <https://www.yamakyoo.or.jp/>

Facebook [yamagatasymphony](https://www.facebook.com/yamagatasymphony) Twitter [@y_symphony](https://twitter.com/y_symphony)

山形交響楽団映像配信のご案内

クラシック専門
ライブストリーミングプラットフォーム
CURTAIN CALL



山形交響楽団公式
YouTubeチャンネル



©Kazuhiko Suzuki

ご来場のみなさまへ

- 使用座席は、政府や自治体のガイドラインに従い、客席定員の100%以内で販売いたします。
- 来場者情報は、必要に応じて保健所等の公的機関へ提供する場合がござりますので、予めご了承ください。
- 会場では3密を避ける行動をお願いいたします。
- マスクの常時着用（不織布マスクを推奨しております）、こまめな手指消毒または手洗いをお願いいたします。
- 体調不良を感じる場合には、ご来場をお控えください。
- ご入場時に検温へのご協力をお願いいたします。37.5度以上の場合はご入場をお断りいたします。
- 出演者への面会や、楽屋入り待ち・出待ちはお控えください。

会場

やまぎん 県民ホール

〒990-0828 山形県山形市双葉町1-2-38
TEL:023-664-2220 FAX:023-664-2209

駐車場（有料 366台）には限りがありますので、公共交通機関または近隣の駐車場もご利用ください。

※駐車場が大変混み合います。時間に余裕を持ってご来場くださいますようお願いいたします。

